

令和7年度 松田町総合戦略審議会 議事録

1. 日 時 令和8年2月12日(木) 10:00~12:00
2. 場 所 役場 4階 4AB会議室
3. 出席者 別紙「名簿」のとおり
4. 配付資料

松田町総合戦略審議会委員名簿

資料1-1 松田町まち・ひと・しごと創生 総合戦略の評価について(案)

資料1-2 地方創生関係交付金事業の評価について

資料1-3 1次評価、2次評価(案)のまとめ

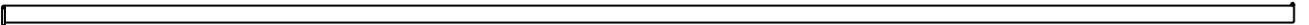
資料2-1 第3期 松田町総合戦略(改訂案)のポイントについて

資料2-2 第3期 松田町総合戦略(改訂案)

資料3 松田町の人口推移について

【参考資料】

- 総合戦略及び国交付金事業の進行管理等について **参考資料1**
- 地方創生交付金関連事業について **参考資料2**
- 松田町総合戦略審議会設置要綱 **参考資料3**



1. 開 会
2. 委嘱状交付
3. あいさつ
4. 議 事

(1) 第2期 松田町総合戦略の取組みと成果について

資料1-1、**資料1-2**及び**資料1-3**に沿って事務局より説明

会 長：それでは基本目標ごとに順に質問、意見を頂戴したいと思う。基本目標1から意見を伺う。

委 員：数値目標の合計特殊出生率について、令和4年度に1.26と高い数値になっているが要因としてなにか把握しているか。

子育て健康課長：令和4年度の出生数が60人であった(令和3年は37人、令和5年は46人)ため、数値としてこのようになっているが、その要因は掴めていない。

委 員：合計特殊出生率上げていくためには、地方で問題になっているのは、若い女性が都心部に流出してしまうこと。令和4年度に上がった要因として、その以前に若い女性が多く転入があったような何かがあったのかと思い確認した。

会 長：他によろしければ、本項目についての2次評価は●●やや遅れているということで、原案どおりとして進める。

会 長：続いて、基本目標2について意見を伺う。

委員：町民マイスターによる出前講座や町民大学への参加者とは、具体的にどのようなことを行っているのか。

教育課長：寺子屋まつだという事業を、土日を中心に行っており、小学生、中学生が参加し、子どもの居場所づくりのような事業として行っている。

委員：町民大学の参加者が令和6年度の達成率が51.3%と減っているが、こういった要因であるか。

教育課長：資料記載のとおり、参加者が固定化の傾向にあるということで、新たな講座を行っているがなかなか浸透が図れていない。

会長：他によろしければ、本項目についての2次評価は●●●概ね順調に進んでいるということで、原案どおりとして進める。

会長：続いて、基本目標3について意見を伺う。

委員：起業件数について、商工会等と連携して力を入れているところで、経済・産業の発展にやはり必要なことであると考えている。実績値としては、かなり高いと思うが、目標値を高めていくという考えはないのか。

参事兼観光経済課長：この目標値は平成30年に設定したもの、見直しについては協議していく。商工会と起業セミナー等を開催してきた結果と捉えており、今後はより目標値を高めていきたいと考えている。

委員：起業について、こういった業種があるのか。

参事兼観光経済課長：大きな起業ではなく、家庭内における小さな起業が多く、サービス業が多く、大工などもあった。

会長：他によろしければ、本項目についての2次評価は●●●概ね順調に進んでいるということで、原案どおりとして進める。

会長：続いて、基本目標4について意見を伺う。

委員：新松田駅・松田駅における定期外乗車人員数どちらもKPIが未達成にも関わらず、なぜ一次評価は概ね順調に進んでいるなのか。

事務局：他の1次評価も含めまして、達成率を見て判断しており、平均値が100%以上のものは、●●●●順調に進んでいますとしており、次いで80%以上が●●●、60%以上が●●●ということで進めている。仰るように未達成の中で順調に進んでいるというのは違和感も持たれるかもしれないが、達成率を見て判断してきたところ。

委員：空き家の利活用の物件数について、全国で空き家の問題は社会問題となっているが、利活用に関する引き合いはどの程度か。また、情報発信の方法は。

定住少子化担当室長補佐：使える空き家と言われるものに関しては2次活用として誰かに使ってもらいたいという考えのもと、固定資産税の納入通知書の発送に合わせて、空き家利活用に向けたチラシを同封し、一定の問合せをいただく。その後は、宅建事業者等を適宜ご案内するなどの対応をしている。

会長：民間賃貸住宅家賃補助事業申請件数について、実績が1件のみということは借り

たい人がいないのか、または制度が知られていないのか、どのように考えているか。

定住少子化担当室長補佐：数値としては低い状況。町内にはアパートが多いものの、本補助制度の対象物件は、当町の空き家バンクに登録された物件を対象としており、そこに住みたいという方に補助を出す制度である。なかなか空き家バンクの登録件数が増えないことが主な要因であることから、登録物件の増加させていくよう努めていく。

会 長：他によろしければ、本項目についての2次評価は●●やや遅れているということで、原案どおりとして進める。

会 長：続いて、基本目標5について意見を伺う。

会 長：特によろしければ、本項目についての2次評価は●●やや遅れているということで、原案どおりとして進める。

会 長：続いて、基本目標6について意見を伺う。

委 員：地域懇話会の参加者数、目標に比べてかなり少ないが、参加してもらえない理由と改善策は。

参事兼政策推進課長：過去地域座談会という形で、各26自治会で開催していた。令和の初めのころまでその形で行ってきたが、自治会の方からなかなかそれだけの人を集めるのが大変であるという話もあったので、地域懇話会という形で集約して松田地区と寄地区の2会場で開催する形となった。令和7年度については、それぞれの地域に入って細かく開催したところ、合計で300人弱の参加があった。より多くの町民の声を直接聞くという機会は今後も設けていきたい。また、若い世代の方の参加が少ないという話が以前よりあるので、SNSなども活用し町民の声を集める手法を考えていきたい。

会 長：他によろしければ、本項目についての2次評価は●●やや遅れているということで、原案どおりとして進める。

会 長：感想として、6つの基本目標のうち、やや遅れているが4つとなっている。松田町の町民としては少し心配に思う。総合計画の評価では、もう少し進んでいる印象であるものの、総合戦略はKPIの項目も異なっているのでこのような形になっているのかなと思うが、全体的に低いなという印象である。

副町長：全般的に全ての数値を達成というよりも、施策の進め方として、取組を絞り込んで進めていくというのも方策の1つではと考える。令和7年度からの第3期総合戦略において、しっかりと取り組んでいきたい。

会 長：続いて、交付金活用事業の評価に移りたい。AIを活用したオンデマンド交通サービス推進事業について意見を伺う。

委員：利用してる方は良いと思われていると思うが、その他の町民の方からはどのような意見があるのか。

参事兼政策推進課長：本事業は、令和5年度から3か年の計画として実証運行としてどのようなニーズがあるのかを検証しているもの。既存の公共交通の補完をするということではじめたもののあまり利用が伸びていない状況。定期的に、地域公共交通会議という場で、運賃や運行計画の見直しを行ってきたが、大井町、開成町、山北町と広域に跨る運行をしていることもあり、速やかに改善をすることができない状況もあり、利用実績がなかなか伸びていかない。町民の方からの意見については、11月にアンケートを行ったところなので、運行実績やアンケート調査の結果を踏まえて、来年度以降の運行について検討を進めている。

会長：利用者が伸びないことは残念に思っている。

会長：他によろしければ、本項目についての評価は●遅れているということで、原案どおりとして進める。

会長：続いて、デジタルを活用した健康の見える化・データヘルス推進事業と松田町デジタル利用誘客システムについて意見を伺う。

会長：特によろしければ、本項目についての評価はそれぞれ●遅れている、●●●概ね順調に進んでいるということで、原案どおりとして進める。

(2) 第3期 松田町総合戦略の改訂について

資料2-1、資料2-2に沿って事務局より説明

会長：令和7年の3月に出来上がったばかりで、若干の追加があるということかと思うが、意見を伺う。

委員：観光の振興の施策に、健康福祉センターの改修とあるがどのような改修を行うのか。

定住少子化担当室長補佐：観光の振興の目標のなかで、健康福祉センターというのが、違和感があるという趣旨かと思うが、健康福祉センターについては建ってから25年ほどが経過し改修の時期となっている。改修にあたっては、付加価値を高めるような改修を検討している。また、健康福祉センターの横を流れる河川の河川敷でキャンプ利用をされる方が多くいて、そこと併せて有効活用するような計画をしている。

会長：他によろしければ、改訂案について原案どおり承認として進める。

(3) 松田町の人口推移について

資料3に沿って事務局より報告

会長：2040年まで10,000人をキープするという目標を掲げ、現在10,206人となっている。社会増が頼りになっているような状況であるが、何とか2040年目標に向けて進んでいきたいと思う。

(4) その他

副町長：全体の話として、事業についてはしっかりと実施してきていると思うものの、町民への周知の仕方が上手くできていない事業が多いように思う。これらが、各事業の参加者が伸びてこない要因ではないかと思う。本日は貴重な意見を多数いただいたので、引き続きご指導ご鞭撻をお願いしたい。

5. 閉 会

副会長：総合戦略については、地方創生に向け、人口維持にフォーカスすることもあって、全国的に人口が減ってきているなかで、なかなか KPI の数値が達成されず、苦勞が多いことと思うが、それでもこうした地道な努力を続けていくことが、2040 年に向けた人口維持につながっていくと思う。

また、来年度の県の新たな事業として、都心部の人材と地域の事業者をマッチングさせるような関係人口創出事業を進めていく予定であり、松田町の取組にも寄与することができると思う。